

医歯薬出版『臨床栄養』 投稿にあたって

I 受領する投稿の種類

1)原著

内 容:『臨床栄養』に関係のある各分野に関する論文で、独創性や新規性があり、学術的・科学的な価値があるものについて。市販製品の試験・治験などは「試験」の項目名で扱います(分量・投稿規定などは「原著」と共通)。

分 量:A4 7枚程度(A4 1枚 800字換算で5,600字程度・図表・参考文献を含む。図表は1つにつき400字と換算ください)。

掲載可否の決定:本誌編集委員会の査読により掲載の可否が決定されます。一本の投稿につき査読は2回までとします。また、初回の講評返却から2カ月以内に再投稿ください。詳しくは下記の「VI 投稿に対する評価」をお読み下さい。

掲載コラム:「原著」欄(一色刷)。市販製品の開発・試験・治験にかかわる論文は「試験」欄になります。

2)活動・実践・症例報告(以下,報告)

内 容:『臨床栄養』に関係のある各分野に関する報告で、上記①の投稿まではまとまらないものの、報告する価値のある活動や実践、症例について。

分 量:A4 4枚程度(A4 1枚 800字換算で3,200字程度・図表・参考文献を含む。図表は1つにつき400字と換算ください)。

掲載可否の決定:本誌編集委員会の査読により掲載の可否が決定されます。一本の投稿につき査読は1回となります。詳しくは下記の「VI 投稿に対する評価」をお読み下さい。

掲載コラム:「報告」欄(一色刷)。

II 原稿執筆から掲載までの流れ

1)原稿執筆

以下に示す「III 執筆要項」にしたがって本文・図表などを作成してください。

2)体裁を整える

作成した原稿は「IV 原稿を送付する体裁」にしたがい体裁を整え、まとめてください。

3)送付

必要なものを揃えたら、「V 投稿原稿の送付先」に従ってご送付ください。メールでのご投稿は受け付けていません。

4)評価

査読者による評価は「VI 投稿に対する評価」の通りになります。返答書を作成する場合は「VII 返答書について」に従って返答書を作成ください。

5)掲載

雑誌への掲載が決まりましたら、「[Ⅷ\)校正・掲載について](#)」の通りにデータなどを編集部にお送り下さい。順次校正などに移ります。

6)その他の注意点

[Ⅸその他](#)にはその他の注意点が記載されております。投稿に当たって一度お読み下さい。

Ⅲ 執筆要項(本文および図表, 文献リストなどの作りかた)

1)原稿作成上のフォーマットについて

(1)原則として Microsoft Office を使用するものとします(本文作成は Word, 図表作成は Excel または Powerpoint)。

(2)本文はダブルスペースで印字し, 横書き 40 字*40 行(文章が 1 ページにつき 20 行*800 字入る)で印刷してください。用紙は A4 縦, フォントは明朝体 10.5pt, 英文は New Times Roman 12pt をご使用ください。

(3)本文中, 見出しを付ける場合は以下の段階で見出し付けをしてください

I, II, III, IV…(ローマ数字)

1), 2), 3), 4) (算用数字+閉じ括弧)

(1)(2)(3)(4)(算用数字を括弧で囲む)

①, ②, ③, ④(丸数字)

(4)本文の左側には行番号を振ってください。

(5)図表については, 図と表に分けてそれぞれ通し番号を振り, 本文とは別の用紙にまとめてください。本文中に言及される順に配置し, 各図表の上に図 1, 図 2, 表 1, 図 3…という形で通し番号を書きます。本文中で言及する場合は, その箇所を強調し, その欄外にも指定を入れてください。

(6)図表のタイトルと説明は, 本文および図表本体の用紙とは別にまとめます。その際も, 本文中に言及される順番に書く。書体などは本文と同じ体裁を使うものとしてください。

(7)参考文献表は本文中の最後にまとめてください。

(8)欧文は日本語化しているものはそちらを用いる。また, 略号の初出には必ず綴りか正式名称を示してください。【例】CKD(chronic kidney disease;慢性腎臓病)

(9)掲載原稿は原則として返却いたしません。データでないものなどを送られる場合は複製をおとりください。

2)原稿作成上の構造について

項目名	内容
タイトル	論文のタイトル
緒言	研究の背景・目的など
方法	研究対象者やデータの抽出・解析方法など
結果	研究における結果や成果など
考察	論文で述べる研究と, 先行研究の関わりなど
結論	研究から導き出されたことについてのまとめ

謝辞・倫理的配慮・利益相反	謝辞・倫理的配慮・利益相反について言及する場合本文の最後にまとめてください。
文献リスト	文献リストは以下に示す形式に沿ってまとめてください。

3)参考文献の表記のしかたと文献リストのつくりかた

- (1)本文中の箇所に参考文献をふる場合、「数字+閉じ括弧」で表記し、上付きとして下さい。例：1951年に創刊された「臨床栄養」は国内唯一の臨床栄養専門誌として¹⁾、
- (2)1つの箇所で複数の参考文献番号を振る場合、数字が続く場合は「～」でつなぎ、数字が離れている場合は「,」で分けてください。例：1951年に創刊された「臨床栄養」は国内唯一の臨床栄養専門誌として^{1～5, 7, 9)}。
- (3)本文末にまとめる参考文献表は、以下のようにまとめてください。

※臨床栄養 投稿欄文献記載要項

●英文雑誌

著者名. 論文題名. 雑誌名 発行年;巻(号):頁-頁.

Fearon KC, Ljungqvist O, Von Meyenfeldt M, et al. Enhanced recovery after surgery: a consensus review of clinical care for patients undergoing colonic resection. Clin Nutr 2005;24(3):466-77.

[注1]著者は、4名までの場合は全員明記、5名以上は最初の3名を明記し、「__, __, __, et al.」とします。「et al」はイタリック体にせず、また名前の間に「&」は不要です。

[注2]雑誌名の後は「発行年;巻(号):頁-頁」の順に並べ、それぞれの間スペースを入れないで1語としてください。

[注3]雑誌名は『Index Medicus』に従って略記します。イタリック体にはしなくて結構です。

●和文雑誌

著者名. 論文題名. 雑誌名 発行年;巻:頁-頁.

坂根直樹. 適切な体重維持の重要性. 臨床栄養 2005;107(2):160-4.

戸島ひろみ, 石若干明, 吉岡朋子, ほか. 高たんぱく質含有アイスマルクによる高齢者のたんぱく質摂取不足の改善. 臨床栄養 2008;113(1):111-5.

[注1]著者は、4名までの場合は全員明記、5名以上は最初の3名を明記し、「__, __, __, ほか」とします。

[注2]コロン, セミコロン, ピリオド, カンマは全角です。

[注3]雑誌名は省略せず、正式名称でご記入ください。なお、雑誌名と発行年の間は半角空きます。

●書籍

著者名. 書籍名: 出版社名; 発行年. p 頁.

Sarubin-Fragakis A. The Health Professional's Guide to Popular Dietary Supplements. 2nd: American Dietetic Association; 2002. p38.

金森雅彦, 波多江新平. こうして防ぐ院内感染: 医歯薬出版; 2005.

著者名. 章名. In: 編者名, editors. 書籍名: 出版社名; 発行年. p 頁-頁.

Phillips SJ, Whinsnant JP. Hypertension and stroke. In: Laragh JH, Brenner BM, editors. Hypertension: pathophysiology, diagnosis, and management. 2nd: Raven Press; 1995. p465-78.

清野 宏. 粘膜免疫における「正と負」の免疫制御. In: 吉開泰信, 編. 粘膜免疫学の最前線: 医薬ジャーナル社; 2002. p57-73.

[注1]英文書籍の場合, 「出版社名; 年. 頁.」のそれぞれの間にスペースを入れます.

[注2]単著の英文書籍の著者名は, フルネームでご記入ください.

[注3]和文書籍の場合, コロン, セミコロン, ピリオド, カンマは全角とします.

[注4]書籍全体を文献としてあげる場合は「p 頁.」は不要です.

●翻訳書

著者名(翻訳者名). 翻訳書名: 版元名; 発行年. p 頁.

マリオン N.ブロンディス, バーバラ E.ジャクソン(仁木久恵, 岩本幸弓, 訳). 患者との非言語的コミュニケーション 第2版—人間的ふれあいを求めて: 医学書院; 1983.

IV 原稿を送付する体裁

1)上記執筆要項にしたがって本文および図表を作成のうえ, 送付状を入れた上でご送付下さい.

2)送付状には, 「執筆者の氏名・所属機関, 原稿の区分(原著か報告か), タイトル, キーワード, 合計文字数・図表数, 印刷後の合計用紙数, 校正連絡者の氏名・住所」をお書きください. 本紙は合計の文字数・ページ数に含みません.

3)論文・報告の本文は正副2部をお送り下さい. 本文の冒頭には論文タイトルと全執筆者氏名・所属機関, キーワード, アブストラクト(300字程度)を書き, この部分を1ページ目としてください. 2ページ目より本文をはじめてください.

4)送付状, 本文, 図表などは以下の表に示す順番にまとめてください. ②から⑥までをひとまとめにしてクリアファイルに入れたものを1本と原稿とし, 正副2本をお送り下さい. 送付状はどちらかのクリアファイルに1枚, 一番上に入れてください.

※論文の構造

	場所	項目名	内容
①		送付状	執筆者の氏名・所属機関, 原稿の区分(原著か報告か), タイトル, キーワード, 合計文字数・図表数, 印刷後の合計用紙数, 校正連絡者の氏名・住所
②	本文1ページ目	表紙	論文タイトルと全執筆者氏名・所属機関, キーワード, アブストラクト(300字程度)
③	本文2ページ目から	本文	投稿・報告の本体. 構造は上記「Ⅲ 執筆要項, 1)原稿作成上のフォーマットについて」を参照
④	本文終了後	文献リスト	書き方は上記「Ⅲ 執筆要項, 3)参考文献の表記のしかたと文献リストのつくりかた」を参照
⑤	図表1ページ目	図表	図表の本体. 作り方, まとめかたは上記「Ⅲ 執筆要項, 1)原稿作成上のフォーマットについて (4)図表については～」を参照
⑥	図表ページ終了後	図表タイトル	図表のタイトルおよび内容解説. 作り方は上記「Ⅲ 執筆要項, 1)原稿作成上のフォーマットについて (4)図表については～」を参照

V 投稿原稿の送付先

- 1) ご投稿原稿送付の際は, 封書表面に「投稿」と明記し, 送付状 1 枚と投稿論文・報告を正副 2 通をお送りください。
- 2) ご投稿原稿は下記へ『書留』でお送りください。メールでの投稿は受け付けておりません。
〒113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10
医歯薬出版株式会社 臨床栄養編集部

VI 投稿に対する評価

本誌に投稿された原著・報告については, 以下の基準にそって評価されます。

1) 掲載可(評価 A:Accept)

こちらの評価が下された場合, 『臨床栄養』誌に掲載となります。小誌編集部にてデータをお送り下さい。

2) 微細な修正のうえ掲載可(評価 B:Minor revision)

こちらの評価では査読者からの微細な修正の指示があります。そちらを修正したうえでの掲載となります。査読者からの修正の指示がある場合, 下記の「返答書」に修正点をまとめてお送り下さい。編集部で修正が適切に行われているか確認が取れましたら, 掲載となります。

3) 再査読(評価 C:Major revision)

こちらの評価が下された場合、査読者による再査読を行った上で、掲載の可否が決定されます。初回の投稿の査読に対しての「返答書」をまとめて、再投稿ください。なお、再投稿の期限は2カ月とし、それ以後の同内容での投稿は受け付けません。なお、「報告」に関しては査読は1回のため、基本的に本評価はありません。

4)返却(評価 D:reject)

論文・報告としてのオリジナリティが足りない、致命的な欠点があるなどの場合、返却となります。同内容での投稿は受け付けません。また、送付規定に沿わない形式での投稿の場合も返却となります。この場合は1回に限り再投稿を受け付けることとします。

VII. 返答書について

査読者からの指摘を反映させて再投稿する場合、指摘に応じて修正した部分を返答書にまとめて同送してください。

1)解答書の作成方法

査読者からの指摘について、番号をふり、その番号ごとに解答をお書きください。修正箇所については「行番号〇〇の箇所を△△のように修正しました」という形で、修正した個所の行番号がわかるようにご指摘ください。

VIII)校正・掲載について

投稿が採用となった場合、データをお送り下さい。編集部で校正稿を作成し、お送りいたします。なお、査読者からのコメントに対する修正以外の大幅な修正は認めません(誤字脱字の修正は除く)

- 1) 著者校正は1回お届けいたします。校正返送時に、別刷の要・不要、部数等をお知らせください。
- 2) 共同執筆の場合は、予め著者校正者をご指定ください。ご指定のない場合は筆頭執筆者宛にお届けいたします。
- 3)なお、掲載にさいして、査読者からのコメントが同時掲載となる場合があります。

IXその他

- 1)二重投稿は認めません(学会、研究会などでの発表等を除く)。発覚した場合、同じ筆者からの投稿は以後一切受け付けない場合があります。
- 2)論文の掲載号についてはご希望に添えない場合があります。
- 3)本投稿規定は2012年1月1日から有効とし、2012年2月1日以降に編集部へ届いた投稿はすべて本規定に沿って対応することといたします。

X市販製品の開発・試験・治験に関わる論文の掲載料について

- 1) 組上がり1頁当り61,000円(税別)を頂戴いたします。

2) 別刷は 30 部まで無料. 30 部以上ご希望の節は有料にて承ります. また, 別刷り追加分に関しては表紙などを別途付けることも可能となっております. 詳細は編集部にお問合せください.

XI 著作権について

本誌に掲載される著作物の複製権・翻訳権・翻案権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)・口述権は小社がお預りいたします. 著作者ご自身, 再利用される場合はご一報ください.